

ニューズレター Vol. 10
Multiloop Edgewise Arch-Wire Technic and
Research Foundation
マサチューセッツ州ウェストン
2003年12月

前回の Newsletter からの動き
クリスマスおめでとう！そして、地球が平和でありますように！！

2003年2月7, 8, 9の3日間 International Association of Orthodontists の主催で Connecticut 州 Windsor Locks において MEAW テクニックの卒後教育コースが開かれました。約40名の参加者は皆 MEAW テクニックに非常な興味を示しました。Dr. Unea Han とたまたま Buffalo に滞在していた Dr. Ming-Yu Chen がこの Dr. Kim のコースのアシスタントに来てくれました。コースは参加者に大変好評だったので Dr. Kim は次回のコースを2004年14, 15, 16日に予定しています。



IAO のコースで講演する Dr. Kim

2003年2月27日 Dr. Kim はソウル大学同窓会より「PROUD-ALUMNUS AWARD (名誉同窓生賞)」の金メダルを贈られま

した。



gold medal を受賞する Dr. Kim. 隣は同窓会長の Prof. W.S. Yang

2003年4月28, 29, 30日には2年に一度開催される第6回の MEAW 国際大会が前回と同じホノルルの Sheraton Waikiki Resort Hotel において開かれました。講演はどれもすばらしかったのですがなかでもイリノイ大学主任教授の Dr. Carla Evans, ウィーン大学の Prof. Hans Peter Bantlion, Gnathos Inc. ディレクターの Dr. Gerald Samson, 松本歯科大学の新井嘉則先生の御講演は充実しており、知的興味を刺激するものでした。残念ながらイラク戦争、テロの脅威、SARS 問題などで参加者数は少なかったのですが、参加した人は皆、素晴らしい晴天に恵まれて南洋のパラダイスでの数日を過ごしました。今回の国際大会は参加者数が少なかったためにかんがひの赤字が出たのですが日本 MEAW 研究会、韓国 MEAW Foundation, 吉住肇先生、安永幸宗氏らからの寄付のお陰でかなりの部分がカバーされました。これらの寄付をして

頂いた研究会や Foundation 及び個人に対して深甚なる感謝を致します。



ハワイ大会での Luau dinner banquet と Polynesian show

6月3日 Dr. Kim は Spain の Santiago de Compestela で開かれた第49回スペイン矯正歯科学会において「不正咬合の手術後の後戻りについて」という題で講演し、その後 MEAW テクニックの1日コースを行いました。学会には約350名が参加し、150名が1日コースにも参加しました。講習会に参加したスペインの同僚は MEAW テクニックの魔法のような効果に唖然としていました。事実彼らは MEAW の効果に非常に感心し早速近い将来再び講習会をして欲しいとの申し出を受けました。



Spain で講演する Dr. Kim

7月に日本 MEAW 研究会会長の池上富雄先生は Singapore で1日半のコース、Bangkok で2日間のコースを行い、好評を博しました。彼は現在香港大学の honorary assistant professor の地位にあり、東南アジア地域において引き続き MEAW の普及に努めていくことでしょう。



タイ矯正歯科学会の年次大会で講演する池上先生

日本 MEAW 研究会の前会長で神奈川歯科大学教授の佐藤貞雄先生は7月に Phillipine でコースを行い、オーストリアではここ数年来3ヶ月おきにコースを行っています。

8月18 - 21日の間 New York で開かれた International Bone Biology の年次大会において松本歯科大学の Professor であり、日本 MEAW 研究会の理事でもある栗原三郎先生は「矯正治療における歯根吸収に対する新しいコンセプト」という演題で講演しました。彼の新しいコンセプトは国際的な biologist から受け入れられたようです。

10月18日韓国のソウル市で第11回韓国 MEAW Foundation の秋期年次大会が行

われました。例年のごとく約200名の会員が過蓋咬合の治療法を学ぶために参加しました。真の過蓋咬合こそ治療するのにもっとも困難なケースであることは誰もが認めることです。Dr. Kim は多くの過蓋咬合のケースを示して新しい「REVERSE MEAW」の治療概念を提示しました。

10月23, 24, 25日には福岡市において第13回の Dr. Kim コースが90名の参加者を得て開かれました。参加者の中には2度目3度目、いや12度目という人もいました。これらの参加者の勉学に対する熱意には本当に驚かされます。



福岡市における第13回 Dr. Kim コースの参加者

コースに続いて25日と26日には第13回 MEAW 研究会大会が開かれ、多くの人々が参加しました。大会のテーマは MEAW を用いた治療で困った場合に対する discussion と佐藤貞雄先生と東京の藤本順平先生による矯正治療における咬合のあり方に関する討議でした。その他の発表も非常に興味深く内容の濃い発表でした。大木淳大会長の並々ならぬご努力により第13

回大会は大成功を納めました。



第13回日本 MEAW 研究会大会の素晴らしい夕食会風景

池上富雄先生は総会においてあと1期(2年間)会長を務めることになりました。

今年度日本 MEAW 研究会が授与する Dr. Kim Scholarship Fund には2名の受賞者が選ばれました。彼らはそれぞれ50万円(\$4,400)の研究助成金を受け取ることになります。

2名の受賞者と研究プロジェクト名は以下の通りです。

1. 山崎要一先生(鹿児島大学):「早期治療における MEAW テクニックが下顎の運動機能へ及ぼす影響について」
2. 大嶋嘉久、栗原三郎(松本歯科大学) 池上富雄(熊本市):「焼結磁石を応用した顎間ゴム様矯正力発生装置の研究」

研究が成功することを祈ります。会員の中に研究意欲がありながら研究資金に困っている人がいたらぜひ日本 MEAW 研究会の担当理事栗原三郎先生(kuri@po.md.ac.jp)まで御連絡ください。

来年4月23 - 25日の3日間多くのリクエストにより Dr. Kim の3日間コースが Boston の Radisson ホテルで開かれる予定です。もし皆さんの仲間で MEAW テクニクに興味のある方がおられましたら Dr. Kim(youngkimdmd@earthlink.net) 迄御連絡ください。このコースの参加者数は限られており、申し込みは2004年2月末までとなっています。

世界中の MEAW 研究会の現会員数は以下の通りです。

The MEAW Foundation (USA)-----135

The Japan MEAW Foundation -----462 (訳注：英文よりこちらのほうが正確な数です)

The Korea MEAW Foundation-----450

The China MEAW Study Group -----550

米国 MEAW 研究会のメンバーには Brazil, Chilli, Colombia, Greece, Italy 及び Mexico 人のメンバーが含まれています。

国際 MEAW 研究会誌第10号は現在印刷中で近日中に会員宛に発送される予定です。

2年に一度開かれる第7回国際 MEAW 研究会は2005年5月18 - 20日の間に California 州 Anaheim の Hilton Anaheim で開かれる予定です。Hilton Anaheim は丁度 Disneyland の横に位置しており、御家族の方も充分楽しめるでしょう。カレンダーに参加のマークをしておいてください

(訳注：以下の英文は米国 MEAW 研究会会員向けの会費請求のため省略)

(訳責 池上 富雄)



福岡市における Dr. Kim コースの全参加者